

令和7年度 指定管理者年度総合評価表

(令和7年4月～令和8年3月実施分)

作成日	令和8年6月11日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	グリーンプラザなんごう	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野4番地4	
施設概要	設置目的：恵まれた自然環境とのふれあいを通して、都市住民との交流を図り、地域振興に資する。 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 運用方針：南郷地域における地域内外の交流拠点として幅広いサービスを提供。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44番地33
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	・グリーンプラザなんごうの使用許可に関する業務 ・グリーンプラザなんごうの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者が季節を問わず出ているため、手指消毒等の基本的な感染症対策を継続して営業を行った。 農産物直売所は、天候の影響により、全国的にコメが不足し陳列数が例年より減少したが、その他の野菜等の販売、オリジナル商品の開発、テレビ番組の取材があった事で利用者数の増加を図ることができた。 食堂事業は、仕入食材の高騰や、電気、ガス、水道等経費の高止まり、最低賃金の上昇による人件費の上昇や、人手不足等の懸念があったが、自動券売機導入により人手不足には対処した。 宿泊部門では、特別夕食プランを引き続き提供した他、レストランの自動券売機設置に合わせて、キャッシュレス決済へ対応を始めた。これにより、グリーンプラザなんごう全施設で、キャッシュレス決済へ対応可能になった。 施設の老朽化に伴う備品の入れ替えや修繕は順次進めており、市担当者と情報を共有し、施設利用者へのサービス提供に支障がない時期に実施することができた。
今後の目標	引き続き基本的な感染症対策を実施しながら営業を行う。 農産物直売所は納品者が高齢化し、新規納品者も減少していることから、引き続き、納品者を募集し、農産物陳列数の充実を図る。また、南郷地域に特化した当社オリジナル商品の開発も継続して進める。 宿泊部門では、合宿プランの周知、飲食を含めた宿泊プランを開発、飲食部門では、南郷そばをメインに、南郷地域の特色を活かしたメニューを開発・提供する。 老朽化した施設内の備品や機器の更新計画については、市と協議・連携を取りながら進めていく。 今後も、安心・安全に施設を管理運営することで、利用者数向上に寄与し、南郷地域の振興につなげていきたい。

■市（所管課）の総合評価

評 価	施設・設備等の保守点検や清掃業務を堅実にっており、安全かつ快適な環境整備に努めていた。また、経年劣化による施設等の修繕箇所を早期に発見し、市と連絡を密にしながら適切に修繕を実施していた。宿泊部門では、合宿プランのPR等により利用者数を増加させた。直売所部門及び食堂部門の利用者数は増加したが、原材料費の高騰により収支が赤字となったことから、積極的な新規取組や仕入れの工夫等の実施により、収支改善を期待したい。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が順守されていた。
障がい者の雇用状況	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力して「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。 ・食品営業賠償共済に加入していた。

指定管理開始前における準備	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条例の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特種業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・ボイラー点検 ・防火設備点検 ・消防設備点検 ・重油地下タンク点検 ・貯水槽点検 ・建築設備点検 ・廃棄物処理

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
宿泊・研修施設利用状況 （指定管理業務）	△	宿泊施設利用者数は前年度実績を上回ったが、研修施設利用者数は前年度実績を下回った。 宿泊施設：令和6年度 2,028人 令和7年度 2,326人（対前年度比114.7%） 研修施設：令和6年度 1,676人 令和7年度 1,031人（対前年度比61.5%）
直売所・食堂利用状況 （指定管理附帯業務）	○	直売所・食堂利用者数とも前年度実績を上回った。 直売所：令和6年度 135,117人 令和7年度 143,279人（対前年度比106.0%） 食堂：令和6年度 38,262人 令和7年度 39,521人（対前年度比103.3%）
自主事業	○	「南郷の日」イベント、新そばまつり、雪蛸まつり等を実施し、利用者確保につなげたほか、地域住民との交流促進と活性化を図っていた。
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	季節による繁忙期や作業内容に応じ、南郷そば振興センターやジャズの館南郷間で人員を調整するなど、スケールメリットを活かした効率的な施設運営を行っていた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	△	人件費や維持管理経費等の節減に努めたものの、原材料費の高騰により附帯業務繰入金が計画を下回ったため、収支目標を達成することはできず、赤字収支となった。 (単位：円)

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	施設内に意見箱を設置し、利用者の意見や要望を集め、その結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)

秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・包装紙の代わりとして、新聞紙の再利用に努めた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくりと丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道、ガス等のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	14回	随時 (月1回程度)	担当 (必要に応じ副所長)	・建物、設備の劣化、破損箇所等に関する打合せ ・施設運営状況、修繕状況等の確認 ・自主事業等の実施状況の確認
		12月9日	担当	・地震被害状況確認
		2月9日		・個人情報取扱状況実地検査
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、市と協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			

令和7年度 指定管理者年度総合評価表

(令和7年4月～令和8年3月実施分)

作成日	令和8年6月11日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市南郷そば振興センター	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野1番地1	
施設概要	設置目的：南郷の特産物であるそばの生産及び消費拡大を図り、地場産業の育成に努める。 構造：鉄骨造平屋建て 運用方針：南郷の特産物である「そば」の安定的な生産と消費拡大に資する。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44番地33
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	・八戸市南郷そば振興センターの使用許可に関する業務 ・八戸市南郷そば振興センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113(直通)
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	令和7年度は、猛暑に対応するため、そば農家は作付け時期を遅めに調整し、収穫量は例年並みだった。前年度より受託作業量は増加したが、そば生産者との調整を綿密に行うことで、滞りなく終えることができた。また、施設繁忙期のみ雇用していた短期アルバイトの確保が非常に困難になっており、最低賃金の上昇も影響して人件費が高止まりしている。 南郷そばの周知、宣伝のために道の駅なんごうで営業しているそば屋台は継続しているが、夏場の猛暑時はジャズの館を利用し営業した。屋台の営業は、年間の収支に寄与するため今後も継続していきたい。 老朽化による施設内設備、備品についても、市と相談・協議しながら年次計画を立て、更新することができた。
今後の目標	繁忙期の円滑な作業のために、機械設備のメンテナンスは重要な業務であると考えている。日々、維持管理は怠ることなく行い、施設利用者とのコミュニケーションも大切にしていきたい。 天候の影響により業務量が左右され、運営が難しい施設ではあるが、地域の重要な役割を担う施設であると考えており、今後も、南郷そばの周知・宣伝により、地域の特産品の知名度を向上させることで、施設の利用率向上につなげていきたい。

■市(所管課)の総合評価

評価	日常業務において施設及び備品の状態確認を行い、小破修繕の迅速な対応及び点検の実施など適切な管理運営に努めていた。 当該施設利用者のほとんどがそば生産者であり、天候やそばに係る各種施策等により取扱数量が大きく左右される中、生産者との連絡調整を確実にし滞りなく業務を遂行していた。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、－評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。 ・繁忙期となるそば収穫期は、利用者の利便を図るため、休日も開館していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	－	障がい者の雇用はなかった。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力し「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	－	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。
指定管理開始前における準備	－	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	－	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	－	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。

備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特種業務については、外部委託を実施しており、報告書等で実施内容を確認した。 ・ 消防設備点検 ・ 電気保安業務 ・ 機械警備 ・ 浄化槽保守点検

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明															
そば刈取・乾燥調整業務利用 状況（指定管理業務）	○	そばの作付け作業前の段階から生産者と連絡を取り合うことで施設の利用調整を図り、滞りなく作業を実施した。 刈取面積：令和6年度 2,242a 令和7年度 2,545a（対前年度比113.5%） 乾燥調整：令和6年度 118t 令和7年度 163t（対前年度比138.1%） ・ 取扱量は天候や作況等により変動するものであるため、数値による評価はしない。															
施設貸出利用状況 （指定管理業務）	○	利用状況は、概ね前年実績を上回った。 <table> <tr> <td>乾燥設備</td><td>令和6年度 79人</td><td>令和7年度 109人</td></tr> <tr> <td>選別設備</td><td>令和6年度 92人</td><td>令和7年度 119人</td></tr> <tr> <td>製粉設備</td><td>令和6年度 42人</td><td>令和7年度 40人</td></tr> <tr> <td>製麺設備</td><td>令和6年度 1人</td><td>令和7年度 2人</td></tr> <tr> <td>汎用コンバイン</td><td>令和6年度 24人</td><td>令和7年度 34人</td></tr> </table>	乾燥設備	令和6年度 79人	令和7年度 109人	選別設備	令和6年度 92人	令和7年度 119人	製粉設備	令和6年度 42人	令和7年度 40人	製麺設備	令和6年度 1人	令和7年度 2人	汎用コンバイン	令和6年度 24人	令和7年度 34人
乾燥設備	令和6年度 79人	令和7年度 109人															
選別設備	令和6年度 92人	令和7年度 119人															
製粉設備	令和6年度 42人	令和7年度 40人															
製麺設備	令和6年度 1人	令和7年度 2人															
汎用コンバイン	令和6年度 24人	令和7年度 34人															
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	繁忙期となるそば収穫期は、利用者の利便を図るため、休日も開館し、作業を滞りなく実施した。															

3 収支状況

指標		評価	評価に対する説明						
指定管理業務の収支状況		○	収支計画を達成し、黒字であった。						
			(単位：円)						
			収入	項目	収支計画	収支実績	前年度実績		
				利 用 料 金	4,858,000	5,954,645	4,603,230		
				指 定 管 理 料	12,962,000	12,962,000	12,962,000		
				附 帯 事 業 収 入	4,500,000	3,634,675	4,467,598		
				特産そば産地形成奨励金	0	1,211,500	1,016,000		
				① 東北電力節電達成特典金 前年度：電気・ガス価格高騰対策支援補助金	-	-	387		
				修繕料繰越金	0	1,046,406	0		
			計	22,320,000	24,809,226	23,049,215			
			支出	人 件 費	12,471,000	11,248,697	11,993,648		
				維持管理経費	6,609,000	4,943,096	4,352,067		
				事業費・一般事務費	275,000	4,163,555	4,015,943		
				② 租 税	850,000	1,427,506	1,334,655		
				計	20,205,000	21,782,854	21,696,313		
			次年度修繕料繰越金③		0	0	0		
			収入-支出(①-②-③)		2,115,000	3,026,372	1,352,902		
指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	計			
収 計画	1,442,664	2,115,000				3,557,664			
支 実績	1,352,902	3,026,372				4,379,274			

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者は主にそば生産者であり、事前に協議する等、利用者の満足が得られるような体制をとっていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設の概要をホームページにより周知していた。 ・ホームページのほか、新規利用者にはその都度利用方法を説明した。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組や、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者が来館した際は、施設の利用について一明確にゆっくり丁寧に説明し、必要に応じて筆談等に対応する体制を整えていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	14回	随時 (月1回程度)	担当 (必要に応じ副所長)	・建物、設備の劣化、破損箇所等に関する打合せ ・施設運営状況、修繕状況等の確認
		12月9日	担当	・地震被害状況確認
		2月9日		・個人情報取扱状況実地検査
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、市と協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			

令和7年度 指定管理者年度総合評価表

(令和7年4月～令和8年3月実施分)

作成日 令和8年6月11日

■指定管理者概要

施設名	ジャズの館南郷	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野4番地4	
施設概要	設置目的：地域住民に文化的交流の場を提供し、ジャズを通じた広域的な交流により地域の活性化を図る。 構造：鉄筋コンクリート造 平屋建て 運用方針：ジャズを通じて他地域の住民との交流と地域の活性化を図る。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢44番地33
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	
指定管理者の業務	・ジャズの館南郷の使用許可に関する業務 ・ジャズの館南郷の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	e-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	当施設は、南郷地域のシンボリックな施設であり、地域内で通年ジャズに触れることのできる唯一の場所である。 令和7年度は、来館者数が減少したが、ソフトクリーム販売並びに無料休憩について周知を図ったこともあり、リピーターが増加した。 無料ジャズライブも、年4回実施することができた。また、毎年11月開催のライブは「南郷産業文化まつり」とのタイアップを継続し、メイン会場からの誘客につながった。
今後の目標	引き続き、年4回の無料ジャズライブや自主事業でのライブを開催し、利用者の増加を図る。このうち、11月開催分は、継続して南郷産業文化まつりの日程に合わせて開催することにより、誘客増加を図る。 また、販売が好調なデザートメニューについても、新たなメニューを考案し、利用者の増加を図り、施設の活性化に寄与したい。

■市（所管課）の総合評価

評価	施設及び備品の点検や清掃業務を堅実にいったほか、経年劣化による備品等の修繕は市と連絡を密にしながら実施した。また、優れた音響機器を活用しジャズを体感してもらうジャズタイムを実施するなど、利用者の多様なニーズに対応すべく努めていた。 年4回のジャズライブを実施したほか、道の駅利用者へ施設周知促進活動が積極的に行われていたが、前年度に比べ利用者数はほぼ横ばいであったことから、今後の魅力あるライブ企画等に期待したい。
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、－評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況	－	障がい者の雇用はなかった。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力して「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	－	事例なし。
指定管理開始前における準備	－	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	－	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
重要事項の変更の届出	－	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特種業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・建築設備点検 ・機械警備 ・ピアノ調律

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明															
施設利用状況 (指定管理業務)	○	利用状況は、おおむね例年並みであった。 令和6年度 642人 令和7年度 645人（対前年度比 100.5%）															
ジャズイベント実施状況 (指定管理附帯業務)	○	無料ジャズイベントを開催し、集客に努めた。 令和6年度 430人 令和7年度 420人（対前年度比 97.7%） (イベント内容) <table><tr><td>5月</td><td>馬場葉子 Piano Trio</td><td>120人</td></tr><tr><td>9月</td><td>Merodiam special Live</td><td>70人</td></tr><tr><td>11月</td><td>中沢中学校ジャズバンド部ライブ(2部制)</td><td>105人</td></tr><tr><td>3月</td><td>SWING LEGEND with KISACHI LIVE</td><td>125人</td></tr></table>				5月	馬場葉子 Piano Trio	120人	9月	Merodiam special Live	70人	11月	中沢中学校ジャズバンド部ライブ(2部制)	105人	3月	SWING LEGEND with KISACHI LIVE	125人
5月	馬場葉子 Piano Trio	120人															
9月	Merodiam special Live	70人															
11月	中沢中学校ジャズバンド部ライブ(2部制)	105人															
3月	SWING LEGEND with KISACHI LIVE	125人															
自主事業	○	無料開放時間帯をーランチタイムと音響機器を活用したジャズタイムに分け、軽食や休憩目的の利用者、音楽鑑賞を目的とする利用者、双方に満足してもらえるように努めた。 <table><tr><td rowspan="2">無料開放時来館者</td><td>令和6年度</td><td>18,303人</td><td rowspan="2">(対前年度比 97.3%)</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>17,815人</td></tr><tr><td rowspan="2">飲食利用者数</td><td>令和6年度</td><td>7,393人</td><td rowspan="2">(対前年度比 92.2%)</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>6,820人</td></tr></table>				無料開放時来館者	令和6年度	18,303人	(対前年度比 97.3%)	令和7年度	17,815人	飲食利用者数	令和6年度	7,393人	(対前年度比 92.2%)	令和7年度	6,820人
無料開放時来館者	令和6年度	18,303人	(対前年度比 97.3%)														
	令和7年度	17,815人															
飲食利用者数	令和6年度	7,393人	(対前年度比 92.2%)														
	令和7年度	6,820人															

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																																														
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。 (単位：円) <table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="5">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>85,000</td><td>284,040</td><td>153,900</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>8,113,000</td><td>8,113,000</td><td>8,042,000</td></tr><tr><td>自主事業繰入金</td><td>970,000</td><td>1,535,524</td><td>1,215,134</td></tr><tr><td>修繕料繰越金</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>9,168,000</td><td>9,932,564</td><td>9,411,034</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>4,226,000</td><td>5,035,481</td><td>5,015,300</td></tr><tr><td>維持管理経費</td><td>2,729,000</td><td>2,415,351</td><td>2,750,341</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>850,000</td><td>616,222</td><td>633,706</td></tr><tr><td>租 税</td><td>336,000</td><td>627,362</td><td>547,907</td></tr><tr><td>計</td><td>8,141,000</td><td>8,694,416</td><td>8,947,254</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="2">収入-支出(①-②-③)</td><td>1,027,000</td><td>1,238,148</td><td>463,780</td></tr></table> <table><tr><td>指定期間</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>計</td></tr><tr><td>収 計画</td><td>626,310</td><td>1,027,000</td><td></td><td></td><td></td><td>1,653,310</td></tr><tr><td>支 実績</td><td>463,780</td><td>1,238,148</td><td></td><td></td><td></td><td>1,701,928</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	85,000	284,040	153,900	指 定 管 理 料	8,113,000	8,113,000	8,042,000	自主事業繰入金	970,000	1,535,524	1,215,134	修繕料繰越金	0	0	0	計	9,168,000	9,932,564	9,411,034	支出②	人 件 費	4,226,000	5,035,481	5,015,300	維持管理経費	2,729,000	2,415,351	2,750,341	事業費・一般事務費	850,000	616,222	633,706	租 税	336,000	627,362	547,907	計	8,141,000	8,694,416	8,947,254	次年度修繕料繰越金③		0	0	0	収入-支出(①-②-③)		1,027,000	1,238,148	463,780	指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	計	収 計画	626,310	1,027,000				1,653,310	支 実績	463,780	1,238,148				1,701,928
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																																										
		収入①	利 用 料 金	85,000	284,040	153,900																																																																										
			指 定 管 理 料	8,113,000	8,113,000	8,042,000																																																																										
			自主事業繰入金	970,000	1,535,524	1,215,134																																																																										
			修繕料繰越金	0	0	0																																																																										
			計	9,168,000	9,932,564	9,411,034																																																																										
		支出②	人 件 費	4,226,000	5,035,481	5,015,300																																																																										
			維持管理経費	2,729,000	2,415,351	2,750,341																																																																										
			事業費・一般事務費	850,000	616,222	633,706																																																																										
			租 税	336,000	627,362	547,907																																																																										
			計	8,141,000	8,694,416	8,947,254																																																																										
		次年度修繕料繰越金③		0	0	0																																																																										
		収入-支出(①-②-③)		1,027,000	1,238,148	463,780																																																																										
		指定期間	R6	R7	R8	R9	R10	計																																																																								
収 計画	626,310	1,027,000				1,653,310																																																																										
支 実績	463,780	1,238,148				1,701,928																																																																										
自主事業の収支状況	○	売上は減少したが、仕入価格を抑えることにより、レストラン事業の収支は改善した。 レストラン事業 (単位：円) <table><tr><td></td><td>収支実績 (7年度)</td><td>前年度実績 (6年度)</td><td>備考</td></tr><tr><td>収入</td><td>2,535,921</td><td>3,208,225</td><td>飲食代売上げ</td></tr><tr><td>支出</td><td>1,000,397</td><td>1,993,091</td><td>食材仕入代</td></tr><tr><td>収入-支出</td><td>1,535,524</td><td>1,215,134</td><td></td></tr></table>		収支実績 (7年度)	前年度実績 (6年度)	備考	収入	2,535,921	3,208,225	飲食代売上げ	支出	1,000,397	1,993,091	食材仕入代	収入-支出	1,535,524	1,215,134																																																															
			収支実績 (7年度)	前年度実績 (6年度)	備考																																																																											
		収入	2,535,921	3,208,225	飲食代売上げ																																																																											
		支出	1,000,397	1,993,091	食材仕入代																																																																											
		収入-支出	1,535,524	1,215,134																																																																												

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	接客時の会話等により、利用者の満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等がなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、内容が的確に伝わるように明確に、ゆっくりと丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料を用いて説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	14回	随時 (月1回程度)	担当 (必要に応じ副所長)	・建物、設備の劣化、破損箇所等に関する打合せ ・施設運営状況、修繕状況等の確認 ・自主事業等の実施状況の確認
		12月9日	担当	・地震被害状況確認
		2月9日		・個人情報取扱状況実地検査
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、市と協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			